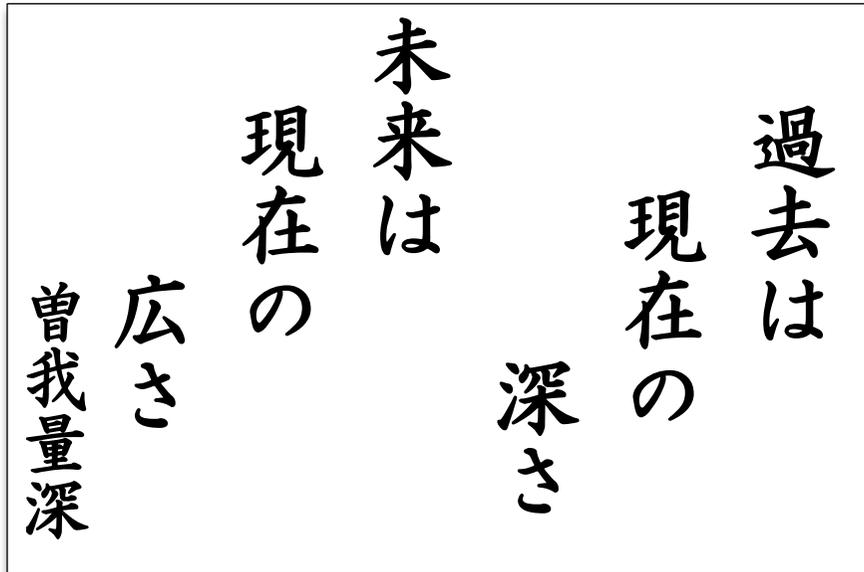


掲示板のことば



2020. 10

明治から昭和を生きた真宗の僧侶、曾我量深師の言葉です。

私たちは、現在（いま）を生きています。しかし、自分自身のことで言えば、過去の出来事に思いを残し、過去を引きずり、未来に不安を感じ、あるいは未来を夢見て浮足立っていることは否定できません。それで本当に、現在（いま）にしっかりと立って生きていると言えるのでしょうか。

この言葉は、過去も未来も現在（いま）にある、ということを教えてくれているようです。

確かに、過去にいろいろな経験をしたし、辛い思いや苦しかったこともありましたが、でも、楽しいこともたくさんあった。それらの経験や知識、精神的な歩みがあったからこそ、現在（いま）の自分が、こうして生きていると言えるかもしれません。それは、私の人生に深みを与えてくれているのでしょ

そして、未来に希望を持ち、可能性を思い描くことは、目の前の景色が大きく広がって見えることもあるかもしれません。

現在（いま）を生きるということは、私に深さを与えてくれる過去と、広がりをもたらす未来によって支えられた大地を歩いていくことなのではないでしょうか。